

2016年9月20日

各 位

デンカ株式会社
デンカ生研株式会社

台湾 PlexBio 社との業務提携による健康関連事業強化に関するお知らせ

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉高紳介、以下「デンカ」）の主要グループ会社であるデンカ生研株式会社（本社：東京都中央区、社長：前田哲郎、以下「デンカ生研」）は、台湾に本社を置く戦略的パートナーである PlexBio 社（以下「PB 社」（注1））との間で業務提携に関する契約を締結し、PB 社が開発した IntelliPlex[®]システム（注2）の日本および ASEAN 地域における独占販売権並びにこのシステムに使用する検査試薬の開発および販売を行う権利を取得したことをお知らせ致します。

IntelliPlex[®]システムは、半導体製造技術とバイオテクノロジーを組み合わせた π コードテクノロジー（注3）を用いた、従来のシステムに比べて短時間かつ簡便で同時に多項目の測定が出来る、画期的な測定システムで、以下の様な特長を持っております。

- ① 最大約 100 種類の項目の同時測定が可能。
- ② イムノアッセイ法（注4）と遺伝子法（注5）の両方に対応。
- ③ 画像認識技術の活用により、高感度と同時多項目測定が両立。
- ④ コンパクトで自動化された操作系を持ち、中～小規模な医療施設でも導入可能。

これらの特徴は「多項目のタンパク質や遺伝子の測定を高感度で迅速簡便に行いたい」という医療現場のニーズを満たすもので、例えばノロウイルス、ロタウイルス、カンピロバクターなど様々な原因が想定される下痢症状に対して、一度の測定で原因を特定するといったことが可能になります。

イムノアッセイ法による同時多項目測定システムの製品化は画期的であり、この測定技術とデンカ生研が長年にわたり蓄積してきたイムノアッセイ法試薬に関する技術の融合は、臨床検査に新たな可能性をもたらすものと確信しております。同時に、デンカ生研が従来保有していなかった遺伝子測定に関するプラットフォームを手にすることで新たな検査領域での事業展開が可能になります。

デンカ生研は本システムの普及を通じて医療現場の多様な課題を解決し、世界の人々の健康維持、疾病予防に貢献してまいります。

デンカは経営計画「Denka100」に掲げる成長戦略『成長ドライバーへの資源集中と、次世代製品開発』において「健康」分野を重点分野のひとつに挙げ、経営資源の選択と集中を図っています。「がん領域」「遺伝子検査」「健康診断」をキーワードに健康関連事業の拡大を展開しており、今後も市場のニーズに的確に応え、課題解決を通じて社会からのご期待にお応えしてまいります。

PB 社との契約概要： π コードテクノロジーのライセンス実施許諾

IntelliPlex[®]システムの独占販売権（対象国は日本と ASEAN）

IntelliPlex[®]システム関連目標売上規模：20 億円～40 億円

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

デンカ株式会社 CSR・広報室 TEL：03-5290-5511

デンカ生研株式会社 新事業企画室 TEL：03-6214-3231

(注1)

① 商号	PlexBio company limited
② 事業内容	医療機器の開発・製造・販売 およびバイオテクノロジーサービス業
③ 設立年月日	2009年12月17日
④ 本社所在地	台湾
⑤ 代表者	Dr Dean Tsao
⑥ 資本金	約16.4億円
⑦ 従業員	約70名

(注2)、(注3) IntelliPlex[®]システムおよびπコードテクノロジーについて

πコードテクノロジーは、半導体製造技術を応用し、表面にバーコードを刻印した磁性マイクロディスクに抗体や遺伝子測定用のプローブを固定することで、検査対象の種類を特定し、同時多項目測定を可能とした技術です。

IntelliPlex[®]システムはこのπコードテクノロジーを蛍光法による測定技術と組み合わせることで、高感度と同時多項目測定を両立させています。蛍光法は測定対象に蛍光標識を付着させ、蛍光を測定することで高感度に対象を認識する一般に普及している技術ですが、原理的に多項目の測定は困難です。IntelliPlex[®]システムではディスク表面に刻まれたバーコードを画像認識することで対象を特定することができるため、同時多項目測定が可能となります。

(注4) イムノアッセイ法について

抗原とこれに対応する抗体が結合する性質を用いて、目的とするタンパク質を特異的に測定する方法です。免疫測定法とも呼ばれ、診断薬の世界で幅広く活用されています。

(注5) 遺伝子法について

特定の塩基配列同士がもつ高い親和性を利用した、目的とする遺伝子の特異的な測定方法です。より高感度な測定が期待出来ることから、その活用が注目されている測定法です。

※PlexBio 社および IntelliPlex[®]システム、πコードテクノロジーについての詳細は PlexBio 社サイト [<http://www.plexbio.com>]をご覧ください。

<ご参考> 「IntelliPlex[®]5000」(イメージ)

